

## 教育目標

心豊かに充実した生活を送ることのできる子どもの育成  
～主体的に生き生きと遊ぶ子どもをめざして～

## 年度末の最終評価

自己評価

教育目標の達成状況，次年度に向けた見直し

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	10月5日	学校運営協議会
最終評価		

## （１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

## 具体的な取組

- 保育を子どもの姿を“主体的に遊ぶ姿”“資質・能力の3つの柱”から捉える。
- 自然環境を生かし，教材について研究し，育ちにつながる環境構成や援助について検証する。
- 週案の作成・反省・評価によるPDCAサイクルの確立。

## （取組結果を検証する）各種指標

- 子どもの遊びの記録，事例研究
- 週案の反省・評価
- アンケート指標「子どもは，やりたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは，園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」

## 中間評価

自己評価	各種指標結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録や事例研究では、園内研究のテーマでもある自然環境を、存分に生かした保育が展開できるよう、環境設定を工夫してきた。</li> <li>アンケート結果「子どもは自分から遊びを見つけて夢中になって遊んでいる」については年長・年少とも「そう思う」「大体そう思う」を合わせると100%となる。</li> </ul>
	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> <li>環境設定を工夫したことにより、園内環境特に生き物の生息状況がかなり豊かになった。子どもも自然環境に自ら興味をもってかかわる姿が見られた。</li> <li>アンケート結果は良好であったが、より幼稚園教育の理解を深めるようにしていきたい。</li> </ul>
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、園内環境を生かし子どもの育ちにつながるように見直していきたい。</li> </ul>
学校関係者評価	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>事例研究</li> <li>アンケート項目      ・週案の評価</li> </ul>
	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果が良好であるので、幼稚園の自然環境をしっかりと生かしているのではないか。</li> <li>地域の自然環境も生かせるよう、協力できることがあれば協力したい。</li> </ul>

## 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## （２）幼小連携・接続に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近隣の小学校への保育公開、小学校の授業参観、研究授業参観。</li> <li>○ 保幼小連携会議への参加。</li> <li>○ 「親子で絵本！」の活用度を、定期的に点検、把握、改善。</li> </ul>
（取組結果を検証する）各種指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育公開の参加実績・小学校の授業参観、研究授業参観の参加回数。</li> </ul>

- ・保幼小連携会議への参加回数と協議内容。
- ・交流事業の実践結果。
- ・アンケート項目「読書ノート“親子で絵本”は活用できている」「親子での絵本の読み聞かせは大切であると感じる」
- ・「親子で絵本！」の活用実績。

## 中間評価

### 各種指標結果

- ・小学校の休日参観や自由参観で、卒園児の様子を見て、情報交換をすることができた。
- ・アンケート「子どもに絵本の読み聞かせをすることは大切なことだと思う」については、年長・年少とも「そう思う」「大体そう思う」を合わせると100%となる。「読書ノート“親子で絵本”は様々な機会に利用している。」については、年少については、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると87%、年長については、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると66%となった。

### 自己評価

#### 分析（成果と課題）

- ・小学校の授業の様子を見て、子どもの成長を感じることはできたが、さらに幼小で実態を共有できれば良いと思う。
- ・読書ノートの利用については、保護者も大切さを意識はしているが、利用するのに抵抗があるようである。特に年長に利用が進んでいないことについて、課題である。
- ・幼小接続年間指導計画を作成した。

#### 分析を踏まえた取組の改善

- ・親子で読書の大切さを再度伝え、「読書ノート」にその足跡を残す意味を伝えることで利用を促す。
- ・幼小接続年間指導計画を検証していく。

#### （最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・保幼小連携会議への参加回数と協議内容。
- ・交流事業の実践結果。
- ・「親子で絵本！」の活用実績。

### 学校関係者評価

#### 学校関係者による意見・支援策

- ・「親子で絵本」がもっと有効に活用できれば良いと思う。保護者にとっては、一言書くのが難しいのではないかと。項目があって「丸」を付けるだけの様なものなら気軽にでき、ハードルが下がるのではないかと。

## 最終評価

### 中間評価時に設定した各種指標結果

### 自己評価

#### 分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題

#### 分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
---------	----------------

### （３）預かり保育に関して

具体的な取組	<p>○指導計画を見直し，安心・安定して預かり保育に参加し，色々な遊びを楽しめるよう配慮，工夫する</p> <p>○長時間利用児の気持ちを十分に受け止め配慮する。</p> <p>○教育時間内と預かり保育時間の子どもたちの姿を担当，担当教員で密に連絡し合いながら，かかわりのあり方を考え実践していく。</p>
（取組結果を検証する）各種指標	<p>○預かり保育参加人数</p> <p>○預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。</p> <p>○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など</p>

### 中間評価

各種指標結果	<p>・預かり保育の利用は，今年度になり増加している。特に年少組は午前保育の水曜日でも，半数から３分の２程度の利用がある。</p>
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の利用者は多いが，教員の体制が課題である。ボランティアを活用しながらではあるが，日常的に担当教員だけでは，支援の必要な子どもの個々の対応をしきれない。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育ボランティアをより有効に活用する必要がある。</li> <li>・場の設定の工夫。</li> </ul> <p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など</li> <li>・預かり保育参加人数</li> </ul>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労する保護者の増加とともに，長時間預けられている子どもがいる実態に，以前とは異なる幼稚園の役割がある事がわかった。何か，役に立てることがないか検討する。</li> </ul>

## 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

### （４）子育ての支援に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援クラス教育相談のボランティアスタッフの質の向上。</li> <li>○未就園児の保護者への幼稚園教育の発信。</li> </ul>
（取組結果を検証する）各種指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援の取り組みの回数や参加人数，教育相談件数。</li> <li>○保護者の意見。</li> </ul>

## 中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取り組みの回数は昨年並みであるが，登録者数は微減である。</li> <li>・幼稚園説明会の参加者から，公立幼稚園についてよくわかったと意見があった。保護者との座談会は好評であった。</li> </ul>	
自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本園に関心のある人には，幼稚園説明会の取り組みは有効であった。</li> <li>・ボランティアスタッフが保育についての情報共有をより密に図りながら，保育の在り方を検討する必要がある。</li> <li>・子育て支援の登録者増加のための広報の仕方を検討する必要がある。</li> </ul>
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取り組みの回数や登録者数。</li> <li>・保護者の意見。</li> </ul>
	学校関係者による意見・支援策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉にいらながらも，明德幼稚園を知らない方がおられたことに驚きである。広報で力になれることがあればと思う。</li> <li>・次年度のひよこ組の登録者が少ない現状は厳しい。制度の影響があるのか。地域として何かできることがあればやっていきたい。</li> </ul>	

## 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

### （５）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組
<p>○学校運営協議会「どんぐりーず」を再編し、園行事運営を見直し、有効活用する。</p> <p>○PTA、おやじの会との行事については、保護者の実態や負担も鑑み、見直しを図る。</p> <p>○関係者評価を園運営に生かす。</p>
（取組結果を検証する）各種指標
<p>○地域と交流の内容や回数。地域の方の意見。</p> <p>○アンケート項目「学校運営協議会　どんぐりーずと参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会　どんぐりーずに子どもたちも親しみを持っている。」など</p>

## 中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、学校運営協議会「どんぐりーず」を再編し、新規理事とともに新たなメンバーでスタートすることができた。</li> <li>・PTAやおやじの会のかかわりは例年通りであるが、今年度はメンバーも増加し、園運営に協力体制が布かれている。</li> </ul>	
自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会が再編されたことで、園運営がスムーズにいくようになった。</li> <li>・PTAやおやじの会との連携が強固になっている。しかし、今後のPTA運営を考えると、就労支援との兼ね合いで、活動は見直す必要が出てくる。</li> </ul>
	分析を踏まえた取組の改善
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の理事会の意見を園運営の視点からいただき、反映させていきたい。</li> <li>・新2号認定の増加による就労支援が拡大してく中での、PTAやおやじの会の活動の今後の方向性について、意見を集約していく必要がある。</li> </ul>	
（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と交流の内容や回数。地域の方の意見。</li> <li>・PTAやおやじの会の意見。</li> </ul>	

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に沿った園運営が課題である。いろいろな意見を反映させていくのは難しいのではないか。</li> <li>・地域としてできることはバックアップしていきたい。</li> </ul>
---------	---

#### 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

### （５）業務改善・教職員の働き方改革について

重点目標
教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、働き方改革を推進する。
<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の精選・効率化。行事の内容や業務の分担の見直しと効率化。超過勤務の短縮。電話対応時間を１８時までとする。</li> <li>水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。</li> </ul>
<div>（取組結果を検証する）各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の勤務時間。業務の実態把握。年休取得率。</li> </ul>

#### 中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応時間は守れており、効果がある。</li> <li>・目標退勤時刻を定めたが、超過勤務の時間を減少させるのは難しかった。</li> <li>・ノー残業デーがほとんど実現できていない。</li> </ul>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標退勤時刻は日々の勤務の中で意識することができていた。</li> <li>・業務の運営に見通しをもち、教育効果へつなげていくことは課題である。</li> </ul>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の精選、就業時刻の設定。</li> <li>・預かり保育の教員と協力・連携を十分に図り、会議や職務遂行がスムーズにいくようにする。</li> </ul>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の時間帯の職務遂行状況。</li> </ul>

	<div>・超過勤務時間</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の取り組みについて，地域として何か支援できることがあるのかが，課題であり，検討する必要がある。</li> </ul> </div>

最終評価

	<div>中間評価時に設定した各種指標結果</div>
自己評価	<div>分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題</div> <div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>